

第2回笠岡市総合計画審議会議事要点録

○ 日 時：平成28年11月24日（木）13：30～15：25

○ 場 所：笠岡市役所分庁第4 2階大会議室

○ 出席委員：18名

小林会長，大嶋副会長，浅野委員，遠藤委員，大山委員，藏本委員，齋藤（永）委員，齋藤（一）委員，谷川委員，玉置委員，鳴本委員，西村委員，野本委員，長谷川委員，原田委員，東山委員，水野委員，三谷委員

○ 内 容：下記のとおり

1 議 事

（1）第7次笠岡市総合計画の骨子案について

資料に基づき，骨子案について事務局から説明。

<委員意見の要旨>

委員：笠岡消防署南署設置は一部事務組合による広域行政の案件であり，すぐに計画の中に入れられる性質でない。

委員：島民は救急医療のための南署の必要性を強く感じている。離島という笠岡市の宝を活かして欲しい。

委員：女性が活躍して協働のまちづくりを行った成功例は？

事務局：表に立ってというよりは，陰で支えていただいている。成功例としては，地域おこし協力隊による戸倉邸がある。これからはぜひ女性に表に立っていただきたいと考えている。

委員：6次の計画に比べ，柱がストレートで訴求力のあるものになっている。

「上水道」と「下水道」が異なる柱に属しているのはなぜか。また，ごみ処理については「廃棄物・環境保全」に入るのか。

事務局：「上水道」は，水道料金が低いという声がある中，値下げによって定住政策にしようという考えが反映されて「賑わう」の柱に入っている。「下水道」は地道にこれまでどおりやっつけていこうという考えで「安定戦略」に。「ごみ処理」は「廃棄物・環境保全」に入る。

委員：「上水道」は、公共料金の見直しの項目の1つとして「安定戦略」で良いのではないかな。

委員：そういう考え方もあるだろうが、定住促進の考えから「活性化戦略」で良いのではないかな。

委員：大体どこの市でも「上水道」と「下水道」を一緒にしている。ただ、どちらの考え方も分かるので、うまくできないだろうか。

委員：「地域交通」の中の（新しい交通体系の構築）について、もう少し詳しく教えて欲しい。

事務局：タクシーをもっと活用して「ドア・ツー・ドア」の仕組みを作れないかということ。その仕組みを地域主体で行う地元への支援も含む。

委員：海上交通は。

事務局：今ある航路を維持するという観点が1つ。もう1つは海上タクシーに対して棧橋を用意することなど。

委員：市民病院の建て替えの検討はどここの項目に入るか。

事務局：「都市計画・開発（駅周辺開発）」の中で検討したい。

委員：立地についても委員に案を投げかけて検討することになるのか。市長は「まず経営の健全化を図り、建て替えは凍結」との見解を示しているが。

事務局：おっしゃるとおり、まだそこまでの議論にはいかない。病院の規模や立地等については様々な議論が必要になるので、別の場で検討させていただくことになる。

委員：総合計画はある程度夢物語と認識することも必要。

委員：市民病院の建て替えについて計画には載せないのか。また、市民病院のあり方についてはどこで議論するのか。

事務局：「あり方検討委員会」でも検討しているし、市民の方にも意見をいただく予定にしている。計画には、駅周辺の開発の中で検討するのであれば「都市計画」の項目に入ってくるし、「医療・救急体制」の項目に入る可能性もある。いずれにしても総合計画には載せていくことになる。

委員：「広域連携」についてこの場で検討してもいいと思うが。

事務局：「計画推進戦略」に入れているが、左の4つの戦略のどこかに入れることも可能。

委員：広域連携の中で、観光ルートの設定をお願いしたい。

委員：市にはいろいろなプランや計画があると思うが、すべて総合計画に入れておいていただきたい。

委員：「子ども・子育て」の項目で（幼保一体化）以外の取り組みは？

事務局：母子保健や産前産後のケア、放課後児童クラブ等、子どもを巡る様々な取り組み

みがある。

委員：市長公約の「議員定数の見直しとまちづくりへの再投資」はどこに入るか。

事務局：総合計画にはなじまないとの事務局の解釈から、そのままの言葉は載せていない。

委員：元気なお年寄りに活躍してもらう取り組みが欲しい。

委員：「障がい者・児福祉」が「安定戦略」に入っているが、「未来戦略」には入らないか。

委員：「地域交通」の中の（新しい交通体系の構築）について、自動運転の導入もいいのでは。

2 その他

次回の審議会は平成29年1月27日（金）午前10時から開催予定